

第16回
イタリア
コンcorso
Music Arte
～音楽コンクール～

2023年度
～音楽コンクール～
Italia
Concorso
Music Arte

参加者募集

国際力を高め、学び飛翔く!

ピアノ・声楽・ヴァイオリン・チェロ・フルート・クラリネット・
邦楽器 他。遠い世界が身近に感じられる贅沢なプログラムの
国際的イベント。国内外での修学の機会が与えられます。

Stella ステッラ(スター)部門

—世界に飛翔くアーティストを目指す方、
音楽を通じて国際的な教養や技術を深めたい方—

プロとして活動されている方、「トッププレイヤー」を目指しておられ
る方へ、「力だめし」または、夢を現実につなげる「チャンス」として日頃
の努力研鑽の技をのびのびと発揮してください。
上位受賞者はスター・プレイヤーとして、世界的な舞台へ飛翔ける数々
のチャンスが与えられます。

Cultura クルトウーラ(教養)部門

—マイペースで音楽を学んでおられる方、愉しまれている方—

音楽を探索して教養や視野を深めたい方、趣味・マイペースで音楽を研
鑽されている方、国際力を高め、芸術力・人間力向上を目指したい方、
「力試し」、または、モチベーションUPのチャンスとして生かしてくださ
い。

応募方法
(予選)

WEB
で応募



または

郵送
で応募

エントリー期間 2023年2月1日～5月31日(必着) ※詳しくはHPを
ご覧ください

予選

応募～審査結果→ 随時案内

1～2曲(プログラミング自由)を「ビデオ録画」または、
「YouTube映像・オンライン」にて審査

- ①WEB応募＝HP内申込フォームより応募(YouTube動画アップロード)
- ②郵送応募＝収録USBメディアを申込用紙、参加料、返信封筒と一緒に郵送
※曲目自由・時間制限なし 【締切】～2023年5月31日(必着)

本選

※AかBのどちらかを選べます

A) 実技審査

2023年6～7月頃全国各地(東京・大阪・名古屋他)の会場にて実技審査
または、

B) ビデオ録画(本選用録画 ※3ヶ月以内に収録)
+ オンライン・ライブ審査
(※日時は個別決定)



テアトロオリンピコ 世界最古の劇場【イタリア】
(屋内)イタリア世界遺産



高台寺音楽祭【京都】



ミラノ国立音楽院総裁
フランチェスコ・ボレッリ氏
※当時▶

【東京】
◀ボローニャ国立音楽院学
長、カルミネ・カッリージ氏、
カティア・ローヴァ氏、マル
チェッラ・レアーレ氏 ※当時



【東京】



Teatro Olimpico

西洋建築のメッカVeneziaに現存する
世界一美しいと称される世界遺産テア
トロ・オリンピコ(世界最古屋内劇場)



世界
遺産

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

(社)日本イタリア協会

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町 51

TEL 075-466-5505 FAX 075-466-5510

Mail info@nipponitalia.com HP nipponitalia.com

日本イタリア協会

検索



▲公式サイト



WEB申込はこちら

出雲大社日御親善特別記念演奏
中央は、イタリア領事、出雲市長、
中川くにこ理事長



音楽の才能を育て、未来に導く音楽コンクール

VI CONCONCORSO
MIN MEMORIA
DEL
GRAN MAESTRO
NAKAGAWA

Italia Concorso MusicArte

主催 (社) 日本イタリア協会

グラン・マエストロ Makizo NAKAGAWA 記念

【2023年・規定書】

音楽の才能を育て、未来に導くコンクール

第16回 イタリア コンコルソ ムジカアルテ



世界最古の屋内劇場 「テアトロ・オリンピコ」

国際力を高め、学び飛翔く！

基本を極め、技巧を磨き、
輝く響きと鮮明なライン、
深い思いやりと人間力、国際力を高めて
心を打つ、人を感動させる、
優しい感性が香を放つ、
そんな表現のできる芸術家を目指していただきたいと希っています。

日本のクラシック音楽界の草分けとして
礎を築いた音楽家



Gran Maestro Makizo Nakagawa
MO. 中川 牧三

日本イタリア協会創始者初代会長 MO. 中川牧三は、わが国の音楽芸術の発展を願って数々の功績を残しました。
コンコルソ「MusicArte」(全部門)は本格的な経験を積むことによって、国際的感覚を磨いていただき大きく成長していただくことを
希っています。芸術家には年齢はなく、幾つであっても目標に向けて邁進していただけますよう【参加資格を4歳～年齢制限なし】
上限をなくしました。

マエストロ・ナカガワが「105年の人生をかけて築いた国際的なキャリア」によって培われた、貴重な人脈遺産は、大きなうねり
とともにわが国のアーティストの為に動いています。

コンコルソ「MusicArte」の入賞者は、それらの恩恵に浴し、歴史と芸術の宝庫イタリアをはじめヨーロッパと日本国内の世界文化
遺産・重要文化財等に於いて、レベルの高い音楽の芸術性を感得できる特別なチャンスが得られます。

後援
協力

イタリア大使館／イタリア文化会館／ヴィチエンツァ市／フィレンツェ市／
ヴィチエンツァ国立音楽院／フィレンツェ国立音楽院／
ヴェネツィア国立音楽院／パドヴァ国立音楽院／ミラノ国立音楽院

日本イタリア協会
HP



コンコルソ
musicarte.jp
〈コンクール申込〉



Stella

ステッラ(スター)部門

Stella

Cultura

クルトゥーラ(教養)部門

Cultura

■ クラス・カテゴリ

- プロフェッショナルの部
- 一般の部
- 大学生の部(短・大・院・専)
- 高校生の部
- 中学生の部
- 小学生の部<低学年/中学年/高学年>
- 幼児<未就学>の部

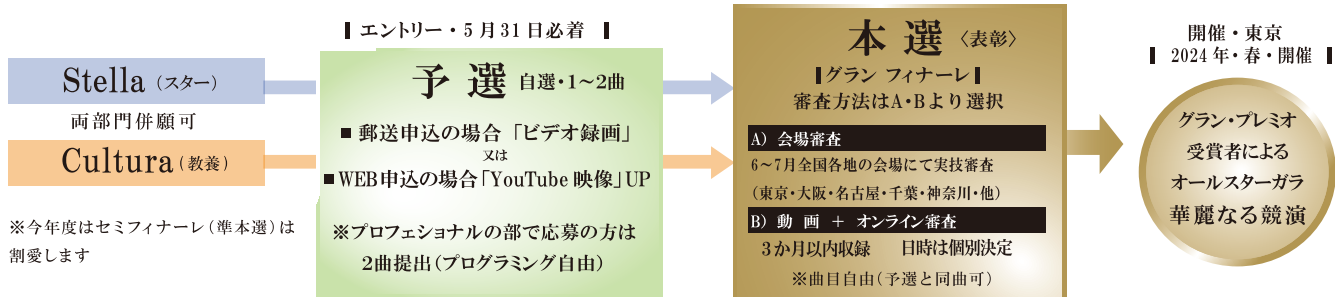
■ 専門

- ピアノ ● 声楽 ● 弦楽器 ● 管楽器
- 打楽器(マリンバなど) ● デュオ ● 室内楽
- 邦楽(箏・尺八など)

※室内楽・アンサンブル・合唱・合奏など、構成は自由



■ 応募概要



Stella

~ステッラ(スター)部門

Cultura

~クルトゥーラ(教養)部門

プロとして活動されている方、「トッププレイヤー」を目指しておられる方へ、海外活動を視野に入れて本格的に取り組みたい方、「力だめし」または、夢を現実につなげる「チャンス」として日頃の努力研鑽の技をのびのびと発揮してください。

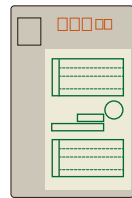
上位受賞者はスター・プレイヤーとして、海外デビューのスカウトや国立音楽院への留学のチャンス、「国際芸術フェスティバル」など世界的な舞台へ飛翔ける数々のチャンスが得られます。

音楽を探究して教養や視野を深めたい方、趣味・マイペースで音楽を楽しみながら研鑽されている方、国際力を高め、芸術力・人間力向上をめざしたい方、「力試し」、または、モチベーションUPのベストチャンスとして是非生かしてください。

上位受賞者は国内外の世界的な舞台での演奏経験などのチャンスが得られます。

郵送の場合 ①~⑤を確認

- ①~⑤を全同封して、「現金書留」にて郵送
- ①収録動画メディア (DVD又はUSBのみ)
- ②申込書
- ③予選参加料
- ④返信用(定型長形3号封筒)×2通(予選・本選用)
宛先に住所・氏名(本人)を記載/94円切手添付)
- ⑤本人写真(上半身撮影・本人確認ができるもの)



送付用封筒イメージ
現金封筒大型

DVD

USB

又は

94 〇〇〇〇 氏名 応募者住所

予選参加料
12000円

申込書
応募書類

写真
裏面に氏名

返信用封筒×2

動画メディアには
部門(ステッラ又はクルトゥーラ)
氏名・カテゴリ・専門科目を記載

【送付先】

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51

(一社) 日本イタリア協会 コンコルソ事務局宛

WEBの場合

ムジカアルテ
コンクール専用
ホームページ



ムジカアルテ

検索

専用ページへ



参加料

予選 12,000円	本選 15,000円
------------	------------

【振込先】※参加者名義でお振込みください

■ 郵便局 記号14130 番号77355351

■ ゆうちょ銀行 店番418 口座番号7735535

■ 振込先名 シャ) ニホンイタリアキョウカイ

芸術音楽監督



M^o.ルカ・ガリレオ (Vn)※審査委員長 クレイド (Vo)※世界的ヴァイオリニスト M^o. アルベルト・カッリージ (P)※世界的テノール M^o. カルミネ・ボローニャ国立音楽院元学長 M^o. ルチアーノ・シエナ国立音楽院元学長 M^o. フランチェスコ・ボッレリ (P)※ミラノ国立音楽院元総裁 M^o. マルチェッラ・レーレ (Sop)※新国立劇場最高コーディネーター M^o. マーク・ゴトーニ (Vn) ベルリン芸術大学ヴァイオリン科主任教授 M^o. マルチェロ・アップバード (P)※ミラノ国立音楽院学長 M^a. カティア・ローバ (Mez)※国際音楽コンクール審査委員長 M^o. パオロ・トロコン (P) ヴェネト州国立音楽院総裁



故M^o. 岩淵 龍太郎 (Vn)※故M^o. 服部克久 (P)※京都芸術大学名誉教授(当時) M^o. 澤 和樹 (Vn) 東京芸術大学学長 M^o. 児玉 實英 (P)※元同志社女子大学学長 M^o. 中川 くに子 (Sop)※日本イタリア協会理事長 M^o. 黒田 安紀子 (Sop)※コンクール評議員 M^o. 水谷 川優子 (Vc)※コンクール評議員 M^o. 丸山 恵美子 (Sop)※コンクール評議員 M^o. 伊藤 晶子 (Sop)※コンクール評議員 M^o. 佐々木 真 (Fl)※全日本フルート協会会長

アントニオ・マルティーニ … ヴァイオリニスト
エンリーコ・バルボニ … ヴァイオリニスト
マリオ・ボーバ ※ … イタリア外務省・元 EU 大使・元駐日大使
ティエナ・ヴィガーノ ※ … 伊 / レナータ・テバルティ財団名誉会長
故マグダ・オリヴェーロ ※ … 世界的ソプラノ歌手
天野 春美 … 声楽家・大阪音楽大学元教授・日本イタリア協会評議員
故岡田 晴美 … 声楽家・神戸女学院大学名誉教授・日本イタリア協会評議員・コンクール特別運営委員
門屋 菊子 … 声楽家・相愛大学名誉教授・日本イタリア協会評議員・コンクール特別運営委員
故山口 淑子 … 声楽家・俳優・元参議院議員

■ 主な審査員(歴代含) 五十音順・敬称略 〈 職責等変更されている場合があります 〉

石崎 俊子 … ヴァイオリニスト
伊藤 真理 … ピアニスト
岩野 めぐみ … ピアニスト
岩澤 麻子 … ヴァイオリニスト
今城 淳行 … 声楽家・同志社女子大学名誉教授
大林 敦子 … 声楽家・相愛大学・同志社女子大学講師
扇谷 勉 … 評論家・NHK 音楽プロデューサー
釜洞 祐子 … 声楽家・東京音楽大学教授
川上 洋司 … 声楽家・東京芸術大学教授
小林 一男 … 声楽家・国立音楽大学客員教授・日本イタリア協会評議員
澤脇 達晴 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
塩田 美奈子 … 声楽家・洗足学園音楽大学教授・日本イタリア協会評議員
下田 幸二 … ピアニスト・相愛大学音楽学部特任助教授・フェリス学院大学・桐朋学園大学講師
竹中 もとみ … 室内楽奏者 (Pf.)・スポーツ演技音楽コーディネーター
立花 三恵 … 声楽家・日本イタリア協会理事
多田 佳世子 … 声楽家・Ikuno-Musica 教授
故田島 好一 … 声楽家・国立音楽大学名誉教授・日本イタリア協会評議員
ダンテ・マツォーラ … ミラノスカラ座研修所教授

植野 雅子 … 声楽家・日本イタリア協会評議員・浦安地区委員長
土佐 誠 … 声楽家・名古屋芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
戸引 小夜子 … ピアニスト・元国立音楽大学講師
豊田 裕子 … ピアニスト
直野 資 … 声楽家・東京芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
原 拓也 … 声楽 テノール
原口 摩純 … ピアニスト
林 廣子 … 声楽家・お茶の水大学教授・日本イタリア協会評議員
福崎 至佐子 … ヴァイオリニスト・高松大学教授
マウロ・イウラート … ヴァイオリニスト
益田 みどり … ヴァイオリニスト・日本弦楽指導者協会 関東支部常任理事
松波 千津子 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
三井 文美 … 生光学園教諭
三好 荒山 … 尺八演奏家
横田 まきこ … ヴァイオリニスト



グラン・フィナーレ 審査風景

左：ミラノ・ヴェルディ国立音楽院総裁
フランチェスコ・サヴェリオ・ボレリ氏
右：ボローニャ国立音楽院元学長
マエストロ カルミーネ・カッリージ

■ 近年の代表的な催事

2023年 4月 3日 オールスター・ガラコンサート〈予定〉
2019年 11月 10日 京都 鷲峰山 高台寺 特別演奏会2019
2019年 10月 23日 奉納式
2019年 10月 25日～12月 15日 大イタリア展
2019年 5月 5日 紀尾井ホール ガラコンサート
2018年 10月 28日 コンクール受賞者リサイタル応援 (大阪)
2018年 10月 14日 京都 鷲峰山 高台寺 特別演奏会2018
2018年 9月 18日 出雲大社 日伊国際親善 特別記念演奏会
2018年 9月 17日 出雲市庁 日伊国際親善 特別演奏会
2018年 8月 28日 六本木ヒルズクラブ・特別演奏会
2018年 7月 16日～ イタリア芸術音楽フェスティバル
フェスティバル開催都市 Vicenza, Venezia, Verona, Mntova, Firenze

イタリア世界遺産・世界最古の屋内劇場
テアトロ・オリンピコ 演奏風景
イタリア国営放送 RAI も取材。



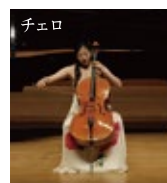
マンドリン



ピアノデュオ



ギターソロ



チェロ



▲ 京都鷲峰山 高台寺 演奏会



▲ 島根県 出雲大社 演奏会

郵送宛先
お問合せ

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51 (社)日本イタリア協会「ムジカアルテ」係
E-mail▶ info@nipponitalia.com TEL 075-466-5505 FAX 075-466-5510

Concorso MusicArte



世界遺産 ヴィチエンツァ テアトロ・オリンピコ、国際フェスティバル 日本代表



文部科学大臣(当時)とイタリア臨時大使(イタリア公使)、ヴェネト州国立音楽院総裁(カステルフランコベネト国立音楽院学長)、ボローニャ国立音楽院前学長、ほか



ヴィチエンツァ国立音楽院体験留学



イタリア国立音楽院学長によるマスタークラス



ゴールデンガーラコンサート 東京紀尾井ホール

■ 表彰・恩典

全参加者は ※日本イタリア協会会員として1年間登録され、その恩恵を受ける。

■ ステッラ部門 ■

グラン・プレミオ・スペチャーレ大賞【特別優秀大賞】 —Gran Premio Speciale—

グラン・プレミオ大賞受賞者の中から特に素晴らしい演奏が認められた者

グラン・プレミオ大賞【最優秀大賞】

—Gran Premio—

最優秀演奏者と認められた者

プレミオ・オーロ【金賞】

—Premio Oro—

優秀演奏者と認められた者

グラン・プレミオ大賞受賞を連覇し、特別に優秀と認められた者へ荣誉ある賞

マニフィカ大賞・「壮麗なる賞」 —Gran Premio Magnifico— ◆イタリア世界遺産演奏旅行特別贈与◆

グラン・プレミオ・スペチャーレ大賞【特別優秀大賞】の連覇を果たした受賞者の中から特に優秀と認められた者

グランマエストロ Nakagawa 記念・「大褒賞」 —Gran Premio M^o.NAKAGAWA— ◆イタリア世界遺産演奏旅行特別贈与◆

最高位クラスの連続受賞、技術、芸術力、幅広い角度からの総合評価による最高位の特別褒賞。日本のクラシック音楽の基礎創りと振興に貢献した、グラン マエストロ ナカガワの名の元に授けられる賞

■ クルトゥーラ部門 ■

■ 金メダル —Medaglia d'oro— 最優秀演奏者

◆ 銀メダル —Medaglia d'argento— 優秀演奏者

■ 銅メダル —Medaglia di bronzo— 優良演奏者



姉妹都市50周年日伊親善協力
フィレンツェ・
新国立オペラハウス

左: 日本イタリア協会
M^o.マエストロ・ルチアーノ・アルベルティ
中: 日本イタリア協会 中川くにこ
右: 京都市長 門川大作 (敬称略)

左からNicola Martinucci, Katia Lolova
Francesco Borrelli (Milano国立音楽院元総裁・大統領顧問),
Cristina Muti (指揮者リッカルドムーティー夫人),
Cunico Nakagawa (日本イタリア協会理事長),
Daniela Javarone, Maurizio Barbacini (指揮者),
Edda Ponti (ヴェルディ国立音楽院教授), Paolo Barbacini

MusicArte 国際フェスティバルを支援しているマエストロたち ▲

出雲大社「日伊交歓フェスティバル」
駐日イタリア領事(当時)



Milanoクザーニ宮殿

金メダル受賞を連覇し、特別に優秀と認められた者へ荣誉ある賞

ディアマンテ賞【ダイヤモンド】 —Gran Premio Diamante—

イタリア国立音楽院等・国内外のマスタークラススカラシップ贈与

イタリア世界遺産国際フェスティバル開催

VICENZA<ヴィチエンツァ>国立音楽院一流アーティスト・教授によるレッスン
▼世界的なヴァイオリニスト エンリコ・バルボニ教授(左)・カッリージ学長(右)



音楽芸術国際フェスティバル「テアトロ・オリンピコ」公式演奏会
イタリア国立音楽院でのマスタークラス、体験留学などの風景

Mo.Makizo NAKAGAWA 記念



中川 牧三
Mo.Makizo NAKAGAWA
1902.12.7 ~ 2008.3.18

Mo.中川牧三 略歴

1902 年 京都市中京区に生まれる。

1910 年よりヴァイオリンを学び、

1920 年より声楽をモンテ・カルロ王立劇場で活躍したソプラノ、オルガ・カラスロワ氏に、和声を菅原明朗氏に、指揮を近衛秀麿氏に師事。

1930 年(昭和5年)、恩師、近衛秀麿氏(筆頭華族・貴族院終身議員、当時の内閣総理大臣近衛文麿氏の実弟、新響[現在のN響]の創始者)に後見人として伴われドイツ、イタリア、アメリカへと留学。ベルリン国立音楽院に留学。指揮法をオット・クレンペラー、作曲をヒンデミット、ヴァイオリンをカール・フレッシュに師事、声楽をワイセンボーンに師事。

後にミラノに移り、国立音楽院と国立スカラ座歌手養成所へいずれも初めての日本人学生として入学。発声をアルフレッド・チェッキに師事。1932 年(昭和7年)ピアチェンツァ王立歌劇場に初めての日本人歌手としてデビュー。トスカニーニ夫妻はじめ、ラベル、マスカーニ、ジョルダナーノとの華やかな交流は、当時の社交界の注目と関心を集めた。

音楽学とスバルティエトを師事したマルティニ教授とともに渡米、州立南カリフォルニア大学へ入学。音楽学とオペラ史を本格的に研究。ハリウッド映画の名門「MGM」会長夫妻の抜擢を受け、当時超一流シアターと云われたハリウッド随一のチャイニーズ・グロマン劇場にて、初めての日本人としてリサイタルを開催。演奏活動の最中、1935 年(昭和10年)、戦雲急を告げ、やむなく急遽帰国。帰国後、学校教育や音楽活動と相まって、国民運動として全日本合唱連盟や全日本吹奏楽連盟など数々の音楽活動団体を創設、音楽普及運動に傾注。当時京都で隆盛を極めた日本映画界、教育界の枢軸的な指導者として活躍。

第二次世界大戦勃発後、「日独伊三国同盟」に於いて唯一人の陸軍総代表として上海で日独伊国際外交を担当。中支派遣軍総司令部参謀部付幕僚として上海陸軍報道部も兼務。スポークスマンを努めるかたわら文化担当将校も兼務。当時最高水準の西欧人ソリストらによって編成された「上海市交響楽団」や「ロシアンバレエ」を自ら指揮し、総監督も兼務。音楽家として、総プロデューサーとして、文化担当将校として、あらゆる面から文化活動を支援した。近衛秀麿、山田耕柞、朝比奈隆、服部良一、李香蘭、白井鉄造、小牧正英はじめ、八十数名の音楽家や文学者、舞踊家などを次々と上海へ招聘。「東洋のパリ」「東洋の魔都」と称された上海で文化運動を推進。戦後の日本文化にも大きな影響を与えた。迫害を受けた多くのユダヤ人を人道保護し、騎士道を貫いた数々の功績や、戦渦の元、上海で繰り広げた国境を越えた平和的活動が後の国際裁判軍事法廷にて現地の西欧人らの証言によって次々と明らかにされ、話題となった。

終戦後まもなく、進駐軍と毎日新聞社の支援のもと、関西における最初の本格的なイタリアオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を東フィルを招聘して上演。「パリアッチ」「リゴレット」「椿姫」「蝶々夫人」「オルフェオ(本邦初演)」「ルチア(本邦初演)」「アミーコ・フリッツ(本邦初演)」他、演出、指揮、翻訳、全てを自ら手がけて指揮指導し、京都、大阪、奈良、滋賀をはじめ近畿各地にて次々と上演。現在の関西のオペラの基礎を築いた。音楽教育と普及運動に傾注する傍ら、京都芸術大学、大阪音楽大学、大阪芸術大学、名古屋芸術大学、京都外国語大学…をはじめ、各地の大学やオーケストラ、音楽団体の創設に中心的存在として関わった。

日本とイタリアの文化交流の先駆者として、イタリアオペラに功労を遂げた第一人者として、イタリア政府から「カヴァリエレ・ウフィチャーレ勲章」を叙勲。

1959 年G・ヴェルディ生誕の地、イタリア・ブッセート市主催「ヴェルディ国際音楽コンクール」へ初の邦人審査員として招かれ運営委員及び審査員を 24 年間務めわが国の声楽家をイタリアへ導く基礎を築いた。併せてブッチーニコン、マリア・カナルスコン、ヴェローナコン、ジリーコン、マリオ・デル・モナココン、トゥーティ・ダルモンテコン、トレヴィーゾコン、ローザ・ボンセルコン、コセンツァコン、セニガリアコン、ストウレーザコン、ベッリーニコンほか、数々の国際コンクールへいずれも最初の日本人審査員として多年に亘って招かれ実行委員並びに審査員を 2007

年春(104 歳)まで、生涯現役で務めた。

国内では「日本音楽コンクール」(毎日新聞社・NHK 主催)全部門の運営委員及び審査員を 38 年間努め、「全日本学生音楽コンクール」(毎日新聞社主催)を創始、毎日新聞社の文化活動に数多く携わり援助した。

本年第 40 回を迎える「イタリア音楽コンクール」(日本イタリア協会・毎日新聞社主催)を 1969 年より創始主宰、審査委員長。コンクール出身者のみならず数多くの志望者の後見人となり、イタリアの主要国立音楽院やスカラ座歌手養成所等の国立機関へ半世紀に亘って導いた。

イタリアはじめ欧米各国より、黄金時代の巨匠といわれた演奏家や教育者、学者らを、戦後まもなくいち早くから次々と招聘。数多くの講習会や演奏会を内外で開催。

105 年に亘る生涯を音楽にかけたわが国の音楽界の巨匠・マエストロ・ナカガワの活動は「日本イタリア協会」に引き継がれている。

トゥーティ・ダルモンテ、ベンジミニャーノ・ジューリ、ジューノ・ペーキ、ジョルジョ・ファバレット、レナータ・テバルディ、ジュリエッタ・シモナート、ジョゼッペ・タッディ…をはじめ、多くの黄金時代の名巨匠らとの戦前からの深い親交は周知の通りで、殊に、世紀のテノールと呼ばれたマリオ・デル・モナコや名門ヴェルディコンクールを創始した名テノール・アレッシンドロ・ジリアーニとは、1930 年代イタリア留学時代からの同門の無二の親友であった。

2000 年 「マルタ騎士勲章」授受

2001 年 「マルタ・大騎士大使勲章」(グラン・アンバシャトーレ勲章)授受

2004 年 2 月と 4 月、101 歳世界最高齢の現役指揮者としてオーケストラを指揮。

2004 年 国際ソロプチミスト日本財団「千嘉代子賞」授受

2005 年 京都府文化賞「特別文化功労賞」授受

2005 年 文化庁長官表彰 授受

2005 年 イタリア政府より最高位勲章「連帯の星」

「グランデ・ウフィチャーレ勲章」授受

2008 年 逝去後、天皇陛下の御裁下並びに閣議決定により

「旭日小綬章」追贈授受

ヴィヴァルディ国際学会名誉会員、テバルディ財団最高顧問並びに 特別名誉委員、日本イタリア協会 創始者 初代会長、松下電器産業株式会社(現パナソニック) 顧問

実父は京都市葛野郡会議長を明治、大正に亘って努めた故中川源太郎。

実兄は京都府会議長、衆議院議員、日本遺族会創始者・初代会長の故中川源一郎。

主 催 一般社団法人 日本イタリア協会 イタリアコンコルソ MusicArte < ムジカアルテ >

所在地 〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51

連絡先 TEL 075-466-5505 FAX075-466-5510

ウェブ <http://nipponitalia.com/> メール info@nipponitalia.com